

平成 23 年 9 月 26 日

受益者の皆様へ

DIAMアセットマネジメント株式会社

当社ファンドの基準価額下落について

以下の通り、当社のファンドにおいて基準価額が大きく下落いたしましたので、お知らせいたします。

1. 基準価額および下落率（9月22日現在）

ファンド名	基準価額(円)	前日比(円)	下落率
みずほ世界不動産投信(通貨選択型) <ブラジルリアルコース>	7,646	459	5.66%
みずほ世界不動産投信(通貨選択型) <南アフリカランドコース>	7,556	449	5.61%

(ご参考)

ファンド名	基準価額(円)	前日比(円)	下落率
みずほ世界不動産投信(通貨選択型) <インドルピーコース>	8,007	293	3.53%
みずほ世界不動産投信(通貨選択型) <豪ドルコース>	9,137	330	3.49%
みずほ世界不動産投信(通貨選択型) <ロシアルーブルコース>	7,704	244	3.07%
みずほ世界不動産投信(通貨選択型) <米ドルコース>	8,515	244	2.79%
みずほ世界不動産投信(通貨選択型) <中国元コース>	8,704	233	2.61%
みずほ世界不動産投信(通貨選択型) <円コース>	9,935	255	2.50%

当資料は3枚ものです。P.3の「本資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

DIAMアセットマネジメント

商号等：DIAMアセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第324号
 加入協会：（社）投資信託協会 （社）日本証券投資顧問業協会

110926投信業管313925-臨時開示-1

2. 市場の動向

FRB（米連邦準備理事会）は、21日に追加の金融緩和策として、保有する短期国債を売却し、償還期間の長い国債を購入する「ツイスト・オペ」の導入を決定しました。しかしながら、「ツイスト・オペ」の導入は市場の予想通りであり、効果も限定的との見方などから、市場では失望感が広がりました。また、G20（20カ国・地域）財務相・中央銀行総裁会議は、欧州の債務問題に対する声明を発表しましたが、市場の不安は払拭されませんでした。加えて、中国や欧州の景気指標が減速を示したことなどから、世界経済の後退懸念が高まり幅広い市場で株価が大きく下落しました。このような環境の中、世界の主要株式市場は下落し、それを受けて不動産関連証券も下落しました。

為替市場では、新興国通貨が下落しました。欧州の債務問題を始めとした金融不安の高まりから、安全資産を求める動きにより新興国通貨が売られ、対円で大きく下落しました。

主要指数	終値 (9月21日)	9月20日比	下落率
FTSE EPRA/NAREIT 先進国 REIT インデックス (円ベース、配当込み、為替ヘッジなし)	718.10	24.83	3.34%
FTSE EPRA/NAREIT 新興国 インデックス (円ベース、配当込み、為替ヘッジなし)	1,343.46	38.21	2.77%

(基準価額への反映を考慮して9月21日の値および下落率を表示しております。)

3. 今後の見通し

引き続き、不動産関連証券市場は、株式市場と同様に、雇用や消費の低迷が招く企業収益見通しの低下圧力に対する不安や、投資家心理に左右される展開が続くと考えられます。一方、不動産市場では空室率が低下しており、賃貸料が上昇しています。加えて、主要国の金利が歴史的な低水準にあることなどは不動産関連証券市場にとってサポート材料と考えられ、良好な投資環境といえます。更に、価格の下落によりバリュエーションが向上しており、不動産関連証券の利回り水準は良好に推移しています。今後も市場の変動性の高い環境が続くと見られますが、不動産関連証券は安定した利回りなどから魅力的な投資機会を提供すると考えられます。

以上

“FTSE”及び“FTSER”は、ロンドン証券取引所(London Stock Exchange Plc)並びにフィナンシャル・タイムズ社(The Financial Times Limited)の商標であり、ライセンスに基づいて FTSE が使用しています。FTSE EPRA/NAREIT 各インデックスは、FTSE の商標であり、本指数の算出、指数値の公表、利用など、本指数に関するあらゆる権利は FTSE 又はその関連パートナー会社に与えられています。FTSE は、本指数値及びそこに含まれるデータの正確性、完全性について、明示的、黙示的を問わず保証するものではありません。また、算出又は公表の誤謬、遅延または中断に対し、一切責任を負いません。

当資料は3枚ものです。P.3の「本資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

DIAMアセットマネジメント

商号等：DIAMアセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第324号
 加入協会：(社)投資信託協会 (社)日本証券投資顧問業協会

[お申込みに際しての留意事項]

投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式・公社債及び不動産投信(リート)等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。従ってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。

また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては 投資信託説明書(交付目論見書)をよくご覧下さい。

投資信託に係る費用について

ご投資頂くお客様には以下の費用をご負担いただきます。

申込時に直接ご負担いただく費用	: 申込手数料	上限3.675% (税込)
換金時に直接ご負担いただく費用	: 信託財産留保金	上限 0.5%
投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用	: 信託報酬	上限 1.995% (税込)
その他費用	: 上記以外に保有期間等に応じてご負担頂く費用があります。 投資信託説明書(交付目論見書)等でご確認下さい。	

(ご注意)

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、DIAMアセットマネジメント株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収する夫々の費用における最高の料率を記載しております。特定ファンドの取得をご希望の場合には、当該ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)をご確認ください。

[本資料のお取扱いについてのご注意]

当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が独自に作成したものであり、金融商品取引法により義務づけられた資料ではありません。

当資料はあくまでも情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

投資信託は、株式・債券及び不動産投信(リート)等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証及び利回り保証のいずれもありません。

当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データはあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

当資料における内容はあくまでも作成時点(2011年9月26日)のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

投資信託は

1. 預金・金融債・保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
2. 金融機関の預金・金融債あるいは保険契約における保険金額とは異なり、購入金額については元本保証及び利回り保証のいずれもありません。
3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

当資料は3枚ものです。P.3の「本資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

DIAMアセットマネジメント

商号等 : DIAMアセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号
 加入協会 : (社)投資信託協会 (社)日本証券投資顧問業協会